

2022年度青山音楽賞青山賞受賞記念演奏会

酒井健治プロデュース公演 #04

酒井健治個展2024 – club MoCo meets virtuosi

K's Blue Production presents

Portraits2024 - club MoCo meets virtuosi

メロディア・ラビーレ (2018) ソプラノサクソフォンとピアノのための

Melodia Labile, pour saxophone soprano et piano

ピアノのための練習曲集第2巻 (全曲版世界初演) (2016/2024)

Etudes pour Piano - deuxième livre

エコーズ／アンコール II (2022) ヴィオラとハープのための

Echoes / Encore II, pour alto et harpe

チャーム／アグリー (世界初演) (2022/2024) ベックメッサーハープのための

Charm / Ugly (world premiere) für Beckmesser Harfe

弦楽四重奏曲第1番「フローティング・フェイズ」 (2023)

String Quartet No. 1 "Floating Phase"

青のリトルネッロ (2018) 木管三重奏のための

Ritornello in Blue, pour trio à vent

青のスパイラル (2016) 木管五重奏のための

Spiral in Blue, for quintette à vent

青と白で (2022) 木管五重奏とピアノのための

En bleu et blanc pour quintette à vent et piano

発足以来、急速に活動を外へ拡げる京都市立芸術大学現代音楽研究会club MoCoが京都市交響楽団首席ヴィオラ奏者の小峰航一氏、同楽団ハープ奏者の松村衣里氏を迎え、キャリアを超えた協働作業に挑む。そして2023年1月聴衆を魅了し青山音楽賞を受賞した酒井健治個展2023にて繰り広げた極限的な演奏がこの度再び蘇り、N世代と呼ばれる若き音楽家達と共に現在の視点から未来を見据える。

2024年8月2日 (金) 青山音楽記念館 バロックザール 19:00開演 (18:30開場)

【チケット料金 (全席自由)】

一般：前売2,000円・当日2,500円

学生：前売1,000円・当日1,500円 (公演当日会場で学生証の提示をお願いします)

発売日：2024年6月8日 (土)

- 前売券完売の場合、当日券は発売致しません。
- 未就学児の入場はご遠慮下さい。

【チケット取扱】

青山音楽記念館 Tel: 075-393-0011 (受付：9:30-18:30 月・火 休館)

チケットぴあ <http://pia.jp> (Pコード：271701)

【お問い合わせ】

K's Blue Production E-mail: kbproduction.info@gmail.com

青山音楽記念館 Tel: 075-393-0011 (受付：9:30-18:30 月・火 休館)

【主催】

K's Blue Production

【協賛】

公益財団法人青山音楽財団

【協力】

AMATI

全音楽譜出版社



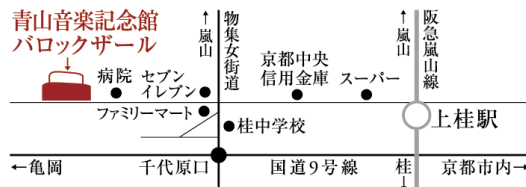
AMATI

ZEN-ON



club MoCo
Kyoto City University of Arts

club MoCo



阪急電車嵐山線「上桂」駅下車西へ300メートル
ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

バロックザール
Barocksaal
青山音楽記念館

お問い合わせ: 075-393-0011 9:30~18:00 月・火 休館
〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1 <https://barocksaal.com/>

出演者プロフィール

上原心（うへはらこころ・サクソ）

兵庫県尼崎市出身。12歳よりサクソフォンを始める。第7回印西国際音楽コンクールプロフェッショナル部門第1位。これまでに海江田真子、石田大輔、田端直美、國末貞仁、須川展也の各氏に師事。須磨学園高等学校を経て、現在京都市立芸術大学音楽学部管打楽専攻4年在学中。

大倉卓也（おおくらたくや・ピアノ）

京都市立芸術大学を経て、同大学院を首席で修了。その後フランスのパリ地方音楽院にて、研鑽を積む。帰国後は日本を中心に演奏活動を行う。2022年には、酒井健治氏の《ピアノのための練習曲集第2巻》より2曲を世界初演した。ピアノを岡原裕美子、田中修二、阿部裕之、イヴ・アンリの各氏に師事。

小峰航一（こみねこういち・ヴィオラ）

東京藝術大学附属高校、同大を経てパリ国立高等音楽院を最高位の成績で卒業。パリ管弦楽団アカデミー生、札幌交響楽団首席奏者を経て京都市交響楽団首席奏者。紀尾井ホール室内管弦楽団、関西弦楽四重奏団各メンバー。デビューアルバム「モノローグ」、次作「ダイアログ」がそれぞれレコード芸術誌特選盤に選ばれる。

松村衣里（まつむらえり・ハープ）

フランス・リヨン国立高等音楽院ハープ科首席卒業。フランス国家音楽高等研究資格取得。日本ハープコンクール（国際コンクール）プロフェッショナル部門優勝ほか多数受賞。田淵順子、木村茉莉、ファブリス・ピエールの各氏に師事。京都市交響楽団ハープ奏者。

長坂響（ながさかひびき・ヴィオリン）

静岡県出身。3歳からヴァイオリンを始め、小学校3年生から9年間ジュニアオーケストラ浜松に在籍。京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻を卒業。これまでヴァイオリンを高林洋子、楯山久美、豊嶋泰嗣、各氏に師事。

玉木龍馬（たまきりょうま・ヴィオリン）

5歳よりヴァイオリンを始める。大阪府立夕陽丘高等学校音楽科を経て、京都市立芸術大学音楽学部を卒業。2022年1月にシンフォニア・アルシスOSAKAと協演。これまでにヴァイオリンを喜多伸代、松木あかね、小崎恵理子、村瀬響、池川章子、泉原隆志の各氏に師事。

木村美香（きむらみか・チェロ）

京都府宇治市出身。幼少期から京都市立芸術大学音楽学部音楽教育研究会京都子どもの音楽教室で学び、9歳からチェロを始める。京都市立京都堀川音楽高等学校にて、雨田一孝氏に師事。現在、京都市立芸術大学音楽学部4年在籍。大学にて、向山佳絵子、上森祥平の各氏に師事。

田島翔太郎（たしましょうたろう・フルート）

熊本県出身。10歳よりフルートを始める。2020年より熊本ユースシンフォニーオーケストラに在籍。熊本県高等学校文化連盟より優秀芸術文化賞受賞。これまでに山口邦子、大嶋義美、富久田治彦の各氏に師事。現在京都市立芸術大学音楽学部管打楽専攻2年在籍。

吉延玲音（よしのぶれおん・オーボエ）

大阪府出身。15歳よりオーボエを始める。現在京都市立芸術大学音楽学部管打楽専攻4年に在学中。第25回浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバルにて吉井瑞穂氏のマスタークラスを受講。これまでにオーボエを大島弥州夫、佛田明希子、高山郁子、加瀬孝宏の各氏に師事。

木津結子（きづゆいこ・クラリネット）

福井県出身。第21回日本演奏家コンクール木管楽器部門最高位。京都市立京都堀川音楽高等学校を経て、現在京都市立芸術大学音楽学部管打楽専攻4年に在学中。これまでにクラリネットを村上てるみ、三界秀実、小谷口直子の各氏に師事。

今西茂斗（いまいしもと・ホルン）

京都市出身。13歳よりホルンを始める。京都市立芸術大学音楽学部管・打楽専攻卒業。現在、東京音楽大学付属オーケストラアカデミーに在籍中。ラデク・パボラーク氏のマスタークラスを受講。これまでに、ホルンを村上哲、水野信行、日橋辰朗の各氏に師事。

松本拓也（まつもとたくや・ファゴット）

京都市立芸術大学音楽学部管・打楽専攻卒業。これまでに下野竜也、阪哲朗、藤岡幸夫らと共演。メディアにはテレビ朝日「題名のない音楽会」に出演。ファゴットを高島翔大、奥山紀子、中野陽一郎、マティアス・ラッツの各氏に師事。2023年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。

藤本紗朗（ふじもとしゃろむ・ピアノ）

岡山県出身。小学2年よりピアノを始める。京都市立京都堀川音楽高等学校卒業。これまでに山崎由美子、田中智穂、松本和将、田村響、兼重稔宏の各氏に師事。現在、京都市立芸術大学4年在学中。



©Maxime Lenik

酒井健治（さかいけんじ・作曲）

大阪生まれ。京都市立芸術大学を卒業後渡仏。パリ国立高等音楽院作曲科を最優秀の成績で卒業。フランス国立音楽音響研究所（Ircam）にて研究員を務めた。作品はリヨン国立管、ルツェルン響、ベルギー国立管、N響、読売日響、京響などの国内外のオーケストラやレ・ヴァン・フランセ、アンサンブル・アンテルコンタンポラン、東京シンフォニエッタなどのアンサンブル、またシルヴァン・カンブルランやジョナサン・ノット、下野竜也や阪哲朗らの指揮者、堤剛をはじめとするソリスト達によって世界初演、再演されている。名古屋フィルハーモニー交響楽団のコンポーザー・イン・レジデンス、オーケストラ・アンサンブル金沢のコンポーザー・オブ・ザ・イヤーなども務め、ジョルジュ・エネスク国際音楽コンクール作曲部門優勝を皮切りに、武満徹作曲賞第一位、エリザベート王妃国際音楽コンクール作曲部門グランプリ、文化庁長官表彰（国際芸術部門）、芥川作曲賞、ローマ賞など著名な音楽賞を次々に受賞し国際的な評価を確立した。現在は京都市立芸術大学准教授及び同大学現代音楽研究会club MoCo顧問。